

## 正 誤 表

「Essential 細胞生物学（原書第5版 第1刷）」

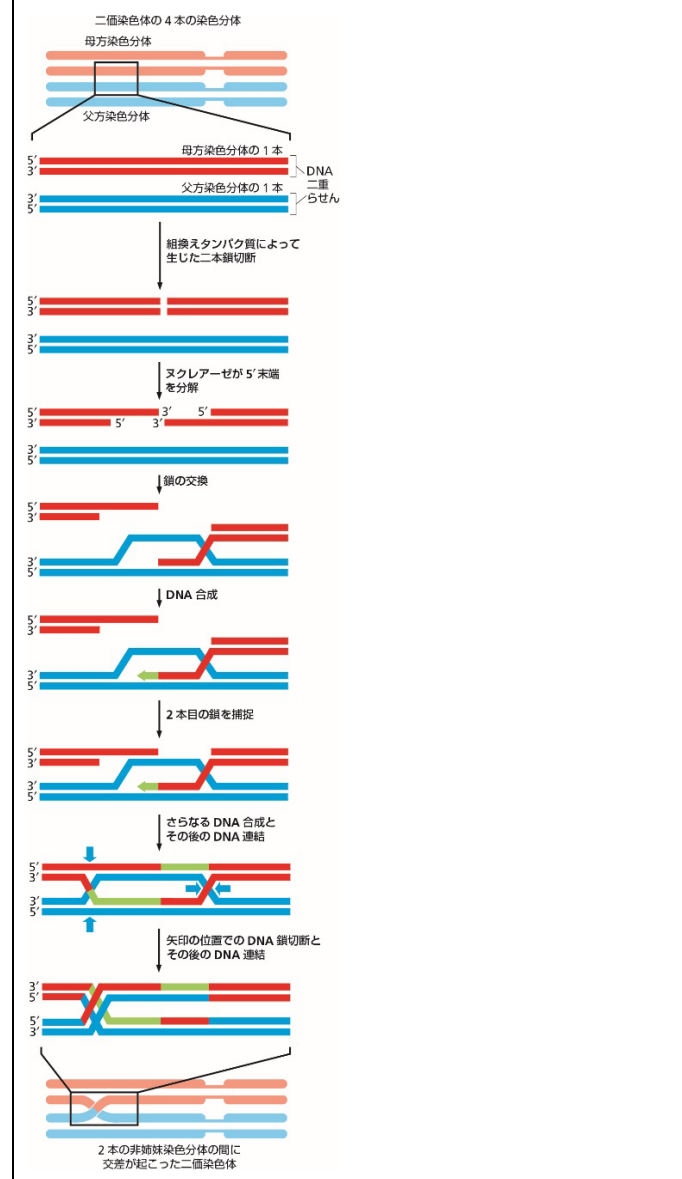
下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
48	表 2-1	ファンデルワールス引力（分子当たり）	ファンデルワールス引力（原子当たり）
83	3行目	閉鎖系	孤立系
84	6行目, 11行目	閉鎖系	孤立系
88	1行目	酸化	還元
94	パネル 3-1 左下「反応の予測」	スクロース→グルコース+フルクトース -2.3kJ/mol	スクロース→グルコース+フルクトース -23kJ/mol
139	下から2行目	基質 substrate とよばれる複数のリガンドと	基質substrateとよばれるリガンドと
142	図 4-34 図説の下から2行目	基質分子との間で	基質分子内で
187	問題 5-2 の 4,5 行目	核（直径 6mm）	核（直径6 $\mu$ m）
221	2行目	Rad52	Rad51
288	7行目	転写後	翻訳後
288	下から9行目	転写抑制因子	翻訳抑制因子
471	26行目	電位受容体	電子受容体
473	図 14-22 縦軸	1電子あたりの自由エネルギー変化	1電子あたりの自由エネルギーの相対値
577	10行目	細胞質にある中間径フィラメントは	中間径フィラメントは
613	14行目	pp.630~631 の「解明への手がかり」参照	pp.615~616の「解明への手がかり」参照
621	下から1行目	複製	修復
626	図 18-18 図中文字	コヒーシンの輪	コンデンシンの輪
631	5行目	動原体は染色体の中心体を形成するある特定のDNA配列を認識する.	動原体は染色体のセントロメアを形成するある特定のDNA配列を認識する.

658

図 19-9

差し替え

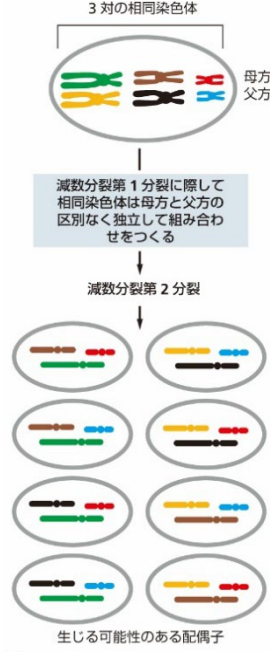
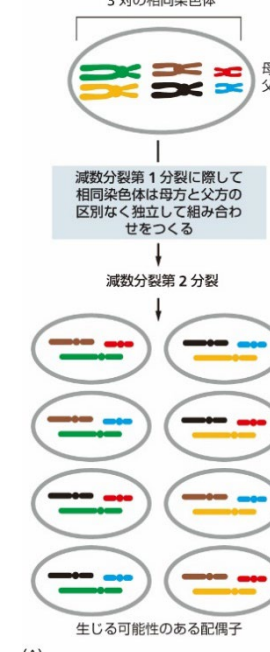


659

下から3行目

大部分の生物では、2本に倍化した相同染色体が減数分裂で正しく分離して別々の娘細胞の核に入る際に、交差が起こる。

ほとんどの生物において、減数分裂中の交差は、複製された相同染色体の2本が正しく別々の娘核に分配されるために必要である。

661	図 19-15 (A)	 <p>3 対の相同染色体</p> <p>母方 父方</p> <p>減数分裂第 1 分裂に際して 相同染色体は母方と父方の 区別なく独立して組み合わ せをつくる</p> <p>減数分裂第 2 分裂</p> <p>生じる可能性のある配偶子 (A)</p>	 <p>3 対の相同染色体</p> <p>母方 父方</p> <p>減数分裂第 1 分裂に際して 相同染色体は母方と父方の 区別なく独立して組み合わ せをつくる</p> <p>減数分裂第 2 分裂</p> <p>生じる可能性のある配偶子 (A)</p>
664	下から 6 行目	分離して伝わる	独立に伝わる
676	9 行目	集団で摂食するのではなく単独で摂食する個体を	単独で摂食するのではなく集団で摂食する個体を
714	図20-37の左上の血球	好酸球	好中球
735	解答 1-4 の 4 行目	$5 \times 10^{14}$ 世代	$9.198 \times 10^{13}$ 世代
768	解答 13-15B の 4 行目	ケト基にはなくメチレン基に移動していることもわかる	ケト基だけではなくメチレン基にも移動していることもわかる (コハク酸が対称的な分子であるため、ケト基とメチレン基のいずれにもなりうることに注意すること)
807	脱分極の解説	膜電位の切り替えで、細胞の内側の電位を負に傾ける。	膜電位の変化で、細胞内側の膜電位の負の値が小さくなる (ゼロに近づく)。